# 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日


上場会社名　株式会社 イトーキ　　上場取引所　東 大
コード番号　7972　URL　http://www.itoki.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松井　正
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長　(氏名) 森谷　仁昭　TEL 03-5543-1701

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年12月期第2四半期 | 58,416 | 29.6 | 4,155 | 178.1 | 4,316 | 134.6 | 3,513 | 384.9 |
| 23年12月期第2四半期 | 45,067 | 2.5 | 1,494 | 108.7 | 1,839 | 78.1 | 724 | 394.8 |

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　4,169百万円　(614.3%)　23年12月期第2四半期　583百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 70.69 | ― |
| 23年12月期第2四半期 | 14.58 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 95,215 | 38,877 | 38.4 | 735.56 |
| 23年12月期 | 87,222 | 34,963 | 37.8 | 662.72 |

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　36,559百万円　23年12月期　32,939百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期 | ― | 0.00 | ― | 5.00 | 5.00 |
| 24年12月期 | ― | 0.00 | | | |
| 24年12月期(予想) | | | ― | 7.50 | 7.50 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 105,000 | 14.0 | 3,000 | 256.7 | 3,100 | 128.2 | 2,300 | ― | 46.28 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年12月期2Q | 52,143,948 株 | 23年12月期 | 52,143,948 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年12月期2Q | 2,441,196 株 | 23年12月期 | 2,440,341 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年12月期2Q | 49,703,140 株 | 23年12月期2Q | 49,704,497 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、東日本大震災により落ち込んだ生産活動が徐々に回復し、復興需要等を背景とする内需の増加が見られた一方、電力供給の制約や原発事故の影響拡大に加え、厳しい雇用情勢やデフレの長期化等により、不安定な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏の大型新築ビルの移転需要の取り込み、医療、教育、公共分野における販売拡大、チャネル販売の強化を推進してまいりました。いずれの分野においても顧客の経営課題、そこで働かれる方々の問題を解決するべく、ソリューション提案を展開し貢献してまいりました。

また、ローリングプラン２０１５の初年度として、生産拠点、物流拠点の再編を開始しコスト削減を一層進め、さらに海外戦略においては新たな業務提携、新商品の開発など積極的にすすめ、着実に高収益体制と攻めの体制を固めつつあります。

その結果、売上高は584億16百万円（前年同期比29.6%増）、営業利益は41億55百万円（前年同期比178.1%増）、経常利益は43億16百万円（前年同期比134.6%増）、四半期純利益は35億13百万円（前年同期比384.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[オフィス関連事業]

この事業につきましては、首都圏を中心とした新築大型ビルの竣工が増えたことにより、移転、リニューアル需要が増加し販売を牽引しました。また、新築ビルへの移転に伴い空いたオフィスへの二次移転、三次移転需要につきましても、多様化するワークスタイルへの対応や地球環境に配慮した商品の提供に加え、セキュリティに関するコンサルティングなど、顧客の経営課題解決に向けたソリューション提案を展開し高い評価をいただきました。

業績につきましては、売上高279億41百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益26億36百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

[設備機器関連事業]

この事業につきましては、首都圏の大型新築ビルの需要を受け、オフィス関連事業との連携で、建材、物流設備、セキュリティ設備におけるソリューション型営業の展開に注力しました。

研究設備分野では、資本・業務提携を行った株式会社ダルトンとの協働によりソリューション営業を展開し、体制の強化をはかるためにエンジニアリング組織の拡充に努め人員を強化しました。事業統合によるシナジー効果も現れ、内作設計の拡大によりさらなるコストダウンをすすめております。

商業施設等においては、既存顧客の積極的店舗展開を背景に二桁成長を維持し順調に推移しております。

業績につきましては、売上高287億２百万円（前年同期比70.1%増）、営業利益15億25百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

[その他]

この事業のホーム家具分野では、入学時にデスクを準備したいという従来の志向が変化し、お客様のライフスタイルによって購入時期を選ぶという年間需要の商材になってきております。これに対応し、お客様が実際の使用場面をイメージして購入を決定される傾向を踏まえ、「空間を重視した商品選び」に対応できる製品やサービスを展開いたしました。また、健康仕様にこだわり、ファブリックにはスウェーデンで生まれた抗菌・防臭効果のある「ポリジン」を採用し、お客様目線に立った製品を展開いたしました。

業績につきましては、売上高17億72百万円（前年同期比10.5%減）、営業損失６百万円（前年同期は66百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて79億93百万円増加し、952億15百万円となりました。これは主に、現金及び預金が68億77百万円、受取手形及び売掛金が21億80百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて40億79百万円増加し、563億38百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が25億93百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて39億13百万円増加し、388億77百万円となりました。これは主に、利益剰余金が32億65百万円、その他有価証券評価差額金が３億９百万円それぞれ増加したことによるものです。また、自己資本比率は前連結会計年度末から0.6ポイント上昇し38.4％となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、72億43百万円の資金の増加があり167億98百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動による資金の増加は78億12百万円（前年同期は50億28百万円の増加）となりました。この主なものは、売上債権の増加などがありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加、減価償却費の計上によるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動による資金の増加は３億30百万円（前年同期は15億27百万円の減少）となりました。この主なものは、有形固定資産の取得による支出などがありましたが、投資有価証券の償還による収入、有形固定資産の売却による収入によるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動による資金の減少は９億11百万円（前年同期は２億75百万円の減少）となりました。この主なものは、長期借入れによる収入などがありましたが、長期借入金の返済による支出、短期借入金の減少によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年８月３日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第２四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微です。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年12月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,741 | 17,619 |
| 受取手形及び売掛金 | 27,498 | 29,679 |
| 有価証券 | 672 | 474 |
| 商品及び製品 | 3,231 | 2,379 |
| 仕掛品 | 1,705 | 2,073 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,326 | 1,490 |
| その他 | 1,586 | 1,576 |
| 貸倒引当金 | △327 | △303 |
| 流動資産合計 | 46,435 | 54,989 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 13,670 | 13,285 |
| 土地 | 10,205 | 10,082 |
| その他（純額） | 4,557 | 4,400 |
| 有形固定資産合計 | 28,433 | 27,769 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 17 | 11 |
| その他 | 778 | 754 |
| 無形固定資産合計 | 795 | 765 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,224 | 4,900 |
| その他 | 7,596 | 8,057 |
| 貸倒引当金 | △862 | △866 |
| 投資損失引当金 | △400 | △400 |
| 投資その他の資産合計 | 11,557 | 11,691 |
| 固定資産合計 | 40,787 | 40,226 |
| 資産合計 | 87,222 | 95,215 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年12月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,560 | 23,153 |
| 短期借入金 | 11,161 | 10,432 |
| 未払法人税等 | 361 | 576 |
| 賞与引当金 | 297 | 393 |
| 受注損失引当金 | 85 | 23 |
| 違約金損失引当金 | 127 | 127 |
| 製品保証引当金 | 23 | 25 |
| その他 | 5,172 | 6,669 |
| 流動負債合計 | 37,788 | 41,402 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,630 | 3,619 |
| 退職給付引当金 | 5,903 | 6,014 |
| 役員退職慰労引当金 | 158 | 177 |
| 製品自主回収関連損失引当金 | 266 | 195 |
| 負ののれん | 11 | 6 |
| その他 | 4,499 | 4,923 |
| 固定負債合計 | 14,469 | 14,936 |
| 負債合計 | 52,258 | 56,338 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,277 | 5,277 |
| 資本剰余金 | 13,020 | 13,020 |
| 利益剰余金 | 16,066 | 19,331 |
| 自己株式 | △1,177 | △1,177 |
| 株主資本合計 | 33,187 | 36,452 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △95 | 214 |
| 繰延ヘッジ損益 | － | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △152 | △106 |
| その他の包括利益累計額合計 | △247 | 107 |
| 少数株主持分 | 2,024 | 2,317 |
| 純資産合計 | 34,963 | 38,877 |
| 負債純資産合計 | 87,222 | 95,215 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 45,067 | 58,416 |
| 売上原価 | 29,785 | 38,134 |
| 売上総利益 | 15,281 | 20,282 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,787 | 16,126 |
| 営業利益 | 1,494 | 4,155 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 37 | 31 |
| 受取配当金 | 65 | 80 |
| 負ののれん償却額 | 4 | 4 |
| 持分法による投資利益 | 114 | 0 |
| 受取賃貸料 | 133 | 110 |
| 受取保険金 | 44 | 75 |
| その他 | 119 | 110 |
| 営業外収益合計 | 520 | 412 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 81 | 102 |
| 減価償却費 | 36 | 33 |
| その他 | 56 | 115 |
| 営業外費用合計 | 174 | 251 |
| 経常利益 | 1,839 | 4,316 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | － | 55 |
| 受取補償金 | － | 49 |
| 貸倒引当金戻入額 | 21 | － |
| 製品自主回収関連損失引当金戻入額 | 9 | 68 |
| その他 | 5 | 23 |
| 特別利益合計 | 35 | 196 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 19 | 24 |
| 投資有価証券評価損 | 254 | 159 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 201 | － |
| 災害による損失 | 290 | － |
| 特別退職金 | － | 36 |
| その他 | 177 | 33 |
| 特別損失合計 | 943 | 253 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 932 | 4,259 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 259 | 521 |
| 法人税等調整額 | △35 | △74 |
| 法人税等合計 | 223 | 447 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 708 | 3,812 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | △16 | 298 |
| 四半期純利益 | 724 | 3,513 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 708 | 3,812 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △132 | 310 |
| 繰延ヘッジ損益 | － | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 7 | 45 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | － |
| その他の包括利益合計 | △124 | 356 |
| 四半期包括利益 | 583 | 4,169 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 602 | 3,868 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △19 | 300 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 932 | 4,259 |
| 減価償却費 | 1,224 | 1,213 |
| のれん償却額 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △23 | 32 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △330 | 96 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △23 | △13 |
| 受注損失引当金の増減額（△は減少） | 47 | △61 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 13 | 110 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △18 | 18 |
| 製品自主回収関連損失引当金の増減額（△は減少） | △20 | △70 |
| 製品保証引当金の増減額（△は減少） | － | 1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △102 | △111 |
| 支払利息 | 81 | 102 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △114 | 0 |
| 有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益） | △1 | △1 |
| 有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益） | 254 | 159 |
| 固定資産売却損益（△は益） | 0 | △14 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △719 | △2,122 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △164 | 334 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 3,037 | 2,570 |
| その他 | 1,030 | 1,567 |
| 小計 | 5,104 | 8,073 |
| 利息及び配当金の受取額 | 102 | 117 |
| 利息の支払額 | △98 | △98 |
| 法人税等の支払額 | △79 | △280 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,028 | 7,812 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △164 | △1,012 |
| 定期預金の払戻による収入 | 90 | 778 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △732 | △1,032 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 96 | 903 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △259 | △84 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △535 | － |
| 投資有価証券の売却による収入 | 4 | 6 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 100 | 1,197 |
| 短期貸付金の増減額（△は増加） | 26 | △58 |
| 長期貸付けによる支出 | △90 | － |
| 長期貸付金の回収による収入 | 39 | 86 |
| その他 | △102 | △452 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,527 | 330 |

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 820 | △989 |
| 長期借入れによる収入 | － | 1,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △732 | △1,184 |
| 社債の発行による収入 | － | 400 |
| 社債の償還による支出 | － | △117 |
| 配当金の支払額 | △248 | △248 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △5 | △6 |
| その他 | △110 | △165 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △275 | △911 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | 12 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 3,230 | 7,243 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,788 | 9,555 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,019 | 16,798 |

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | オフィス関連事業 | 設備機器関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,208 | 16,878 | 43,087 | 1,980 | 45,067 | － | 45,067 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4 | 10 | 15 | 3 | 18 | △18 | － |
| 計 | 26,213 | 16,889 | 43,102 | 1,983 | 45,086 | △18 | 45,067 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,636 | △76 | 1,560 | △66 | 1,494 | － | 1,494 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | オフィス関連事業 | 設備機器関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,941 | 28,702 | 56,643 | 1,772 | 58,416 | － | 58,416 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5 | 9 | 14 | 1 | 16 | △16 | － |
| 計 | 27,946 | 28,712 | 56,658 | 1,773 | 58,432 | △16 | 58,416 |
| セグメント利益又は損失（△） | 2,636 | 1,525 | 4,162 | △6 | 4,155 | － | 4,155 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。